

第18回 RIDCマンスリー研究セミナー

地下の宮殿へようこそ！

— ソ連・ロシアにおける地下鉄開発と地下鉄映画 —

スピーカー

岡山大学社会文化科学学域 准教授

本田 晃子

日時

2022年12月7日(水)

12:00～13:00

場所

オンライン開催



社会主義国、あるいは元社会主義国の主要都市の地下鉄に乗ると、きらびやかな駅のデザインに驚かされることがあるかもしれない。西欧やアメリカ、日本などの地下鉄駅が、比較的画一化された簡素なデザインであるのに対し、旧ソ連圏の国々やポーランド、チェコなどの東欧の国々、中国や北朝鮮でも、しばしば宮殿のように豪華な地下鉄駅が建設されてきた。

実のところ、このような「地下宮殿」の起源は、スターリンの独裁体制が確立された1930年代のモスクワまで遡る。一体なぜ、公共交通機関を宮殿のように壮麗に設計する必要があったのか。そしてこれらの地下鉄駅は、ソ連・ロシア社会においてどのような意味をもっていたのか。本報告では、ソ連における地下鉄開発の歴史とその背景を、当時の映画作品のなかの地下鉄の映像も参照しつつ明らかにしていく。

※今月のセミナーは岡山大学文学部との共催で行います。

お申し込み先

<https://forms.gle/5Loqt88rtXLvGWwBA>

お申し込み締め切り

12月6日 12:00

お問い合わせ先

文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp



*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。折り返し、参加用URLをお送りします。